

2024年10月31日

明治安田生命丸の内本社ビルのオフィスチェアを カーボン・オフセット製品へ切り替え

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、明治安田生命丸の内本社ビルの従業員が利用するオフィスチェアに、カーボン・オフセット製品^{（注1）}を導入し脱炭素社会の実現に貢献します。

近年、温室効果ガス（以下「GHG」という）に起因する地球温暖化により、世界各地で異常気象や気象災害が発生しており、企業による主体的なGHG排出削減の取組みが求められています。また、製品ライフサイクルを通じた排出量に見合ったGHGの削減活動に投資をすることで、社会全体のGHG排出量削減に貢献できるカーボン・オフセット製品も注目されています。

こうした流れのなか、2023年から実施している営業拠点への環境配慮型什器の導入^{（注2）}に加え、丸の内本社ビルにおける老朽化したオフィスチェア2,100脚を株式会社オカムラのカーボン・オフセット製品に切り替え、当該製品の製造、輸送、廃棄にかかるGHG排出量を計159t-CO₂^{（注3）}オフセットいたしました。

また、海洋プラスチックごみ問題への対応・サーキュラーエコノミーへの移行が世界的な課題となるなか、当社では、プラスチックの使用抑制および再資源化に寄与する取組みを推進しており、今般のオフィスチェア切り替えにあたっては、リサイクル材を使用した製品の導入、および切り替え前に使用していたオフィスチェアのリサイクルにより、資源の有効活用と廃棄物の削減に貢献しています。

当社はこれからも、社会を基盤として活動する企業の責任を果たし、「お客さま」「地域社会」「働く仲間」「未来世代」をはじめとするステークホルダーのみならず、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりへの貢献を進めてまいります。

（注1）製品の原材料調達から製造、輸送、廃棄までの製品ライフサイクルを通じて排出されたGHGの埋め合わせを行なうため、排出量と同等の排出権（クレジット）を付与した製品のこと

（注2）詳細は、2023年4月25日リリース「CO₂排出量ネットゼロに向けた保有不動産を通じた取組みについて」参照

URL : https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2023/pdf/20230425_01.pdf

（注3）二酸化炭素1トンを意味する単位で、1t-CO₂は杉の木約71本が1年間に吸収するCO₂量に相当

■導入したオフィスチェア

| | |
|----------|---|
| メーカー・製品名 | オカムラ Potam (ポータム) |
| 製品の特長 | <ul style="list-style-type: none"> ・製品の原材料調達から生産、流通、販売、使用後の廃棄処理までの製品ライフサイクルにおけるGHGの全量をオフセット ・回収した使用済み製品をリサイクルした樹脂脚、および、廃棄生地・国内の使用済漁網をリサイクルした張材を使用することにより資源の有効活用と廃棄物の削減に貢献 |



■オフィスチェア導入後の様子



対応するSDGs目標

